

「代替案作りの経過のご報告」

提案までのプロセス

現在、Save The 下北沢は世田谷区の示す下北沢駅周辺の計画に対し、代替案の作成を行っています。代替案は以下のようなプロセスでまとめていきます。

1 . 「基本理念」の決定

...「基本理念」とは、私たちの代替案の前提とすべき理念のこと。以降のプロセスで決定される代替案は、この「基本理念」に沿うことを条件とします。

2 . 「検討項目」の決定

...「基本理念」が街づくりについての抽象的な理念であるのに対して、「検討項目」は現状の下北沢において検討すべき具体的な項目を指します。

3 . 「検討項目」についての意見交換

(現在、この段階にあります)

...個々の「検討項目」に沿って、具体的なアイデアを出し合います。

4 . 代替案(たたき台)の発表

...世田谷区が開催する「下北沢駅周辺地区地区計画素案説明会」と時期を合わせ、4月初めの発表を目指しています。

5 . 市民、専門家をまじえて本格的な代替案作りを開始

...4月以降、Save The 下北沢は開かれた話し合いの場を設定します。市民、専門家の方々にご参加いただき、下北沢の将来像についてのアイデアをみなで出し合い、本格的な代替案作りを開始します。なお、出来上がる代替案は複数のバリエーションをもつ可能性があります。

「基本理念」の内容

プロセス1で決定した「基本理念」は以下のようになっています。

- ・ 下北沢の魅力を活かしたものであること
- ・ 歩いて楽しむことができる街であること
- ・ コミュニティを大切にすること
- ・ 既存の街並みを大きく変えることなく実現できるものであること
- ・ 補助54号線の計画を前提とせずに自動車交通にも配慮した計画であること
- ・ 災害に強い街であること
- ・ 安全に暮らせる街であること
- ・ バリアフリーやユニバーサルデザインの理念を活かした街であること
- ・ 地球温暖化対策など環境に配慮したものであること
- ・ 税金の使用が現在の計画と比較して少ないものであること
- ・ 住民参加のプロセスによりつくりあげていくこと

「検討項目」の内容

プロセス2で決定した「検討項目」は以下のようになっています。

1. 連続立体交差事業によって地下化される小田急線の地上部分（＝小田急線跡地）をどのように利用するのがよいか（広場、公園、緑道など）
2. 小田急線の新しい下北沢駅に望みたいこと（出口の位置、井の頭線との接続、小田急線地下一階部分の利用法など）
3. 駅（鉄道）とバス・タクシーなどの接続について
4. 地域全体での車の利用について（道路の改修、交通規制なども含む）
5. 街並みの魅力や快適さを高めるためにしたいこと・すべきこと
6. 新たにほしい公共的な施設
7. 自転車の利用の仕方についての提案
8. 駐車場や駐輪場の整備について（位置、規模、構造など）
9. 防災や安全のために提案したいこと
10. 環境改善（地球温暖化防止、大気汚染防止など）という視点から提案したいこと
11. バリアフリーやユニバーサルデザインの視点から提案したいこと
12. その他

現在は、以上の「検討項目」に沿って話し合っています。